

今夏に医学部中研究棟の耐震改修工事が始まり、我々は3階にあった昭和40年代からの本拠地をしばし離れ、動物実験施設に仮住まいをすることになりました。数年前、教室の歴史を感じさせる多くの古い実験機器を北大博物館に寄贈し、もう「お宝」は無くなったと思っていましたが、出るわ出るわ… だいぶ身ざれいになり、来春には新しくなった中研究棟5階で快適な新しいスタートをきれると皆楽しみにしています。

例年どおり、各メンバーに近況報告をお願いしましたので、順にご紹介します。

#### 福島菊郎 教授

最近の大きな出来事として、医学部中棟の耐震工事が行われることになり、認知行動学分野（生理学第二講座）は、この8月に動物実験施設の5階に仮移転しました。来年4月、耐震工事完了後に、中棟の5階に戻る予定です。中棟には、私は医学部学生の頃から、ほぼ40年間、通いましたが、いよいよ、建物も変わることになりました。

この一年間の当分野の教室員の異動等を、順不同、敬称略でお知らせします。博士課程の最終学年であった新田大学院生（眼科）が、今年の3月に、医学博士の学位を取得し、現在、眼科に戻っています。また、高次脳機能学分野から、認知行動学分野に転専攻していた桑島大学院生と綱田大学院生も、今年の3月に、医学博士の学位を取得し、現在、東京都神経科学総合研究所の渡辺正孝先生のもとで、研究員として研究を継続しています。田中准教授の指導を受けている國松大学院生は、修士課程を修了し、この4月から、博士課程に進学しました。斉藤大学院生は現在、学位論文の仕上げの最中です。技術職員の平野さんは、医学研究科医学部技術支援部が創設されたことに伴い、9月に中央研究部門に異動になりました。9月の音羽博次奨学基金授与で、学部5年の松嶋藻乃さんが受賞しました。松嶋さんは、田中准教授の指導のもと立派な研究成果をあげており、北大医学研究科のMD.PhDプログラムの第一期生に合格しました。おめでとうございます。

#### 田中真樹 准教授

この一年、われわれの研究グループでの大きな変化といえば、1) 吉田くんが無事に国家試験に合格し、帯広厚生病院の研修医になったこと、2) 技術職員の平野さんが中央研究部に異動になったこと、3) 國松くんが無事に修士課程を修了し、博士課程に進学したこと、4) 松嶋さんが音羽賞を受賞し、さらにはMD/PhDコースに進学することになったこと、などがあげられます。他にも吉田くんの初めての論文、松嶋さんの初めての学会発表、國松くんの比較生理生物学会での発表論文賞受賞など、楽しい出来事がありました。この一年で白石くんは研究をすすめるためになくてはならない存在になりましたし、田代さん

もマイペースでがんばっているようです。また、来春までには順天堂大から大前くんがポスドクとしてメンバーに加わる予定になっています。私もこの春に文科省から若手科学者賞をいただき、もっと気をひきしめて仕事をしなくてはと反省することが多くなりました。この夏は中研究棟の改修工事・仮移転のおかげで休む間もなく過ぎていってしまいましたが、(空調がうるさいのと時々変なおいがすることを除けば) 予想以上に快適な動物実験施設でなんとかチャンピオンデータをとってやろうと奮闘しています。

山野辺貴信 助教

2008年10月からJSTさきがけの研究が始まる予定で、その準備や書類の提出で忙しい日々を送っています。趣味で、セーリングボート(小型のヨット)をはじめたのですが、先日、はじめてレースに参加しました。2人乗りのスナイプという艇で参加したのですが、スタート地点で波の高さが3mぐらいあり、さすがに気分が悪くなりました。この状況、まるで私の研究生活みたいと思っていたところ、上級者の相方が笑って、「どうします? リタイヤしますか」と、声をかけてきたので、すぐさま、リタイヤと答えました。その後、嵐でレースは中止となったので、良い判断だったとは思いますが。。研究でも、いろいろな大変なことが出てくるのですが、セーリングボートと同じように柔軟に対応できるようになれたらと思う今日この頃です。

Sergey Kurkin 助教

Originally I am from Rostov-on-Don, Russia. I got my PhD in biophysics in 1983. Since 1995 I joined the Laboratory of Sensorimotor and Cognitive Research at Hokkaido University Medical School. I am working on development of computer-based system to study the neural mechanisms controlling eye movements. This system comprises 3D virtual targets presentation, data acquisition, data analysis and computer modeling.

宮本環 客員研究員

本年も引き続きfMRIの研究をしている。たまったデータの解析にあれこれ頭をひねっている最中。

赤尾鉄平 博士研究員

今年もここ2生理にお世話になっております。新しい実験施設は冷暖房完備とあってさすがに住み心地が良いです。これで今年の冬も越えられそうです。

齊藤展士 大学院生(博士)

「光陰矢の如し」とよく言いますが、最近、時がたつのは本当に早いと感じています。もしかしたら、単位時間における自分が出した成果が小さいから、このように感じるのかも

しれません（逆かなあ？）。現在、論文作成のために多くの時間を割いており、徐々に形になってきていますので、もう少しすれば、今とは違う時がたつ早さを実感できるでしょう。

藤原圭志 大学院生（博士）

時間ってたくさんあると思っていても、過ぎてしまえばあっという間ですね。決して無為に過ごしてきたつもりはありませんが、もっといろいろできたのかな、という気もします。残りの院生生活の日々を大事にしていきたいです。

七戸夏子 大学院生（博士）

去年は産休で教室の皆様方にご迷惑をおかけしましたが、たくさんのご協力とお心遣いに本当に感謝しております。おかげさまで息子も無事1歳を迎え、元気に走り回っています。休んだ分を取り戻さなくては・・・と思いつつ、仕事の進み方に比べ毎日が飛ぶように過ぎていきます。

國松淳 大学院生（博士）

あっというまに修士課程も終わり、今年度から博士課程の学生になってしまいました。特に生活に変化はないですが、ちょっとはしっかりしないとと思うようになりました。最近はやせと修士のころの研究を論文にまとめています。論文を書くのはかなりエネルギーのいる大変な作業であることを知りました。このフラテが出る頃には論文も出版されているといいのですが…。がんばります。

金島基行 大学院生（修士）

修士2年の金島です。メガネとオレンジ色が目印です。見かけたら声をかけて下さい。

田代真理 大学院生（修士）

札幌2年目の田代です。昨年の札幌での初冬では、雪の氷によく転びましたので、今年は、転ばないように歩き方に注意します。

松嶋藻乃 医学部生（5年）

この研究室に通わせて頂くようになってから、もうかなりの時間が経ちました。研究室の方々に、大変な手助けをして頂いたおかげで、今では、データを形にすることが出来そうなどころまで来れました。5年生の実習をやりながらも、実験をすることが出来るのは、研究室の方々の協力のおかげと、本当に感謝しております。最終的な形にするには、まだまだ乗り越えるべき壁が沢山ありますが…。MD-PhD コースに入り、これからもしばらくこちらにお世話になることと思います。全てが上手くいくとは思いませんが、自分の **life work** を探すために、日々戦っていきたいと思います。

白石達哉 技術補助員 (JST)

2年前からここ第二生理で勤務しております。まさしくドラマ「家政婦は見た」の市原悦子演じる秋子サンよろしく働きながら、研究室内を恭しくピーピング致しております。研究者の立場とアシスタントの立場、そしてサルの立場が日々交錯する日常を目の当たりにしながら、このドラマの行く末が一体どうなってゆくのか固唾を呑んで見守っております。結末として、絶対ケガだけはしないように…。

一瀬貴大 技術補助員

技術補助員として2年目に入りましたが、仕事相手のサルというのはなかなか手ごわい相手です。思い通りに行かなくて呆然としてしまうことがあります、教室の皆さんに（特にポスドク様）に助けられてジリジリと前進しているように思います。彼らを一人前に育ててこそ自分の役割が果たせたと思うので、これからも粘り強くトレーニングを続けていこうと思います。週末は山に登ったり、鉄道を見に行ったり、たくさんの子どもたちと野山で遊びまわっていたりします。

鈴木真理 事務補助員

事務を担当している鈴木です。早いもので、こちらの教室に来てから3年が経ちました。1歳だった息子も4歳になり、元気に遊んでいる姿を見ると月日の重みを感じます。北海道に定住を決意したので、恵まれた自然環境をいかして様々なことにチャレンジしたいです。

以上、まとめの時期にさしかかっている人、新しいスタートをきった人、相変わらずの人など様々ですが、皆それぞれの目標に向かって充実した忙しい毎日を送っています。

（文責：田中）